

島根高P連だより

第63号

2022.12.15

発行
編集

島根県高等学校PTA連合会事務局

松江市黒田町538 TEL/0852-22-8602 FAX/0852-22-8735

E-mail: shimakp@orange.ocn.ne.jp URL: https://shimakp.jp/

高P連
ホームページの
QRコード



大東高校



1年生総合的な探究の時間
(ゲストトーク)



2年生研修旅行(太宰府天満宮)



体育祭



上代タノ朗読劇鑑賞
(大東町出身、日本女子大学第6代学長)



ロードレース大会
男子17km 女子12km
全員完走!!

安来高校



1年生総合的な探究の時間
「安来節演芸館来場者倍増計画」



蒼輝祭
体育祭応援合戦 緑組



フェンシング女子団体
全国高校総体(インターハイ)第3位



夏の甲子園応援

浜田高校



体育祭 応援合戦



文化祭
ミュージックフェスティバル



理数科首都圏研修

目次

- 2 令和4年度高P連研修会
- 3 第71回全国高P連大会石川大会
- 4 優良PTA文科大臣表彰実践報告 矢上高校PTA
全国高P連会長表彰実践報告 三刀屋高校PTA
- 5 全国高P連会長表彰実践報告 浜田商業高校PTA
第64回中・四国高P連大会愛媛大会
- 6 世界大会出場 会長激励費贈呈 横田高校ホッケー部
出雲農林高校カヌー部
- 7 世界大会出場 会長激励費贈呈 島根中央高校カヌー部
令和4年度幼・こども園・小中・高・特別支援PTA合同研修会

令和4年度高P連研修会

不安な時代をどう生きるか

～お坊さんの修行から学んだこと～
 一 烟葉師管長 飯塚 大幸氏

座禅を行ったと言われている。

令和四年度島根県高等学校PTA連合会研修会を十月二十一日(土)に烟葉師で開催しました。当日は二十四名の参加があり、午前中に希望者で座禅を体験し、午後に講演を聴きました。講師は烟葉師管長の飯塚大幸氏にお願いしました。お話しいただいた内容はどれも深い内容で、自分たちの毎日を振り返る機会となりました。資料も用意していただき、飯塚管長様ご自身の経験をお話ながら、平易な言葉でお話ししていただきましたので、大変わかりやすく「不安な時代をどう生きるか」について考えるいい機会となりました。また、講演後、飯塚管長様に「烟葉師の境内や庭園を案内していただきました。」

以下は、講演の概要です。

一.己を知る

「不安な時代をどう生きるか」に対する答えは、結局は「自分を知ることしかない」と考えている。世界の哲学者や宗教家など偉大な思想家が「己を知る」ということを大きなテーマとしている。私たちには子どもいるし、親もいるし、仕事もあるし、様々なしがらみの中で生きているが、「何が一番大切な」を突き詰めると「自分が一番大切な」はずである。その認識が出发点となる。お釈迦様は「人の心は、瞬時にして地の果てまでも行くことができる。しかし、何処をどう探してみても、自分より愛しいものを見つけ出すことはできない。自分の愛しさを知る者は、他の人もまた自分が最も愛しいと知るべきである。自分の愛しさを知る者は、他の人を書してはならない。」という言葉を残されている。「己を知り、己を大切すること」は、「他の人もまた自分が一番大切な」と知り、「他の人を書してはならない」と知ることになるのである。

私は旧平田市の地元の小学校に通ったが、中学時代は京都の龍安寺の中にある大珠院という禅寺に預けられ、修行しながら中学校に通った。師匠の身の回りの世話や掃除をする仕事を与えられたが、当時、たくさん外国人が修行に来ており、一緒に修行した。彼らは仏教の修行というより「自分自身をよく知る」ために修行を行っていた。アップル創業者のステイブ・ジョブスも自分自身の生き方を見つめるために頻繁に

二.気づく

禅寺での修行で学んだことのつは、「気づく」とであった。修行を通して「本当のことに気づく」「自分の間違ひに気づく」「見ているのを見ていなかったものに気づく」ことを学んだ。うまくいっているときは自分一人が物事をなしたと思っているが、後で振り返ると多くの人に支えられていることに気づくことがある。お坊さんの修行は何か特別なことをしているのではなく、日常生活において「大切なことに気づく」ことを目的としている。「気づく」とは別の表現で言えば「寝ている状態からはつと目覚める」「悟ることである。仏教の「仏(ブツ)」は本当のことに気づく」という意味である。

禅寺で修行していたときの仕事のつにお客さんに抹茶を立てる仕事があった。師匠には多くのお客さんがあり、深刻な相談もあった。ある人がひとしきり話しが終わって、私が立てたお茶を飲むと「あー美味しいお茶です」と仰り、帰りに障子を開けて外を見ると「まあ、きれいなお庭ですね」と感嘆されたことがあった。師匠に悩みをお話しし、心を空っぽにしてお茶を飲むと美味しいと感じ、庭がきれいになることに気づく。私たちは心に抱え過ぎていると周りが見えないことがある。せつかく美しいものを見ても見えていないことがあるのだ。いろいろなものを受け入れる状態に心をしていきたいものである。

あるとき、師匠が「床の間を見てこい」と私に仰り、私はどこか拭き忘れたところがないかと雑巾を手に取りあわてて行くと見たが、特に気になるところはない。戻ると師匠は「わしが活けた花を見たか」と尋ねられた。私が床の間の花に気づいたか、確認されたのである。

三.縁

私はその頃はお坊さんになるつもりはなかったし、親もお坊さんになれとは度々言わなかった。お坊さんになった今、振り返って見ると縁をいただいたと想っている。「縁」という言葉は仏教の「因縁」から来て

いる。「因」はもとからあるものを表す。子ども一人を同じように育てたつもりでもまったく違う生き方をする。姉妹でも、持つて生まれた性質が異なるからである。他方、生まれた後に受けた親の養育や学校の教育は、はじめ様々な影響を「縁」という。この「因」と「縁」が合わり、「因縁」となる。私たちはひとりではない。支え合っている。「縁」を周りからいただいているのだ。「おかげさま」という言葉は「縁」を感謝する言葉である。

四.無財の七施(むざいのしちせ)

財(お金)がなくても七つのお布施ができるということである。お布施と聞くと、法事やお葬式でお坊さんの読経後に渡す謝礼を思い浮かべる人も多いと思うが、本来の意味は「布の施し」という字句のとおり、お札として布を渡すことである。ポロポロになった衣服を着た僧侶に、せめて着るものだけでも使い古しの布を施したのが始まりと言われている。そして布の端切れを縫い合わせ、袈裟を作ったのである。お金やものがなくても周りの人々に喜びを与え、少しでも喜んでいただける方法があるというのが無財の七施の教えである。

昔、おばあさんが「何もお札のものを持っていないが、お話を聞かせてもらっているんです」とお釈迦様に頼むと、お釈迦様は「そんなことはありません。人は何も持っていないくても、七つのお札はできますよ」と言て「七つの施し」を教えられた。

(一)眼施(がんせ)

慈しみに満ちた優しいまなざしで相手の目を見ることが、相手を認めることになる。

(二)和顔施(わげんせ)

なごやかで穏やかな顔つきで相手に接する。微笑みながら相手と話しをする。

(三)愛語施(あいごせ)

優しい言葉を話しかける。思いやりのある言葉を言う。「ありがとう」「さー」である。英語圏でも「Thank you」を頻繁に使っている。

(四)身施(しんせ)

身体を使って奉仕をする。ほうきを使って掃いたり、草取りする。汗をかくてすっきりする。身体を使って動く姿が人を感動させる。

(五)心施(しんせ)

仕事や家事、その他何をするにせよ、邪念を持たずに、心をこめて一生懸命、本気で取り組む。

(六)床座施(じょうざせ)

居場所や座の席を「ごきげん」とゆずる。

(七)房舎施(ぼうしゃせ)

尋ねて来る人があれば風や雨露をしのぐ所を与える。住まいを提供する。

現在、私は社会福祉施設に関わっているが、優しいまなざしで微笑みながら話しかけ、手を触れることを心掛けています。特に最初の四つの施「眼施和顔施、愛語施、身施は人を元気にする。

五.三つのおぼろび

(一)つてもうついでにいたく

幼い子どもは親からいろいろな世話をやいてもらい、喜び、愛情を受けながら成長する。

(二)自分でできるさせていたく

子どもはやがて成長し、自分でできるようなになり、「○○ができるようになったと喜ぶようになる。自分でやります」と自分でできることを証明したいようになる。

(三)つちあげる(つちをあげる)

「つちをう」から「自分でできる」「存在へと成長してさらに人にしてあげる」してさしあげる「存在に成長し、それが喜びになる。

六.諸行無常

平家物語の最初に、祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響きあり、沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらはす。おこれる人も久しからず、ただ春の夜の夢のごとし。たけき者も遂には滅びぬ、偏に風の前の塵に同じ」とある。また、方丈記には「ゆく川の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどめたるためしなし」とある。

すべてのもは変化している。子どもを育て、子どもが高校を卒業し、就職し、ほつとしていくと、あつという間に今度は子どもに面倒を見てもらうことになるかもしれない。

三月になると校のつぼみがほころび始め、やがて、三分、五分、七分咲きと進み、満開を迎える。満開も束の間、花びらが散り始め、やがて若葉が芽生えてくる。季節の移ろいの早さに驚くかもしれない。だが、変化しているものは校だけではない。自分も季節の一部で、変化している。「花を見る あなたも歩む 命がな(よみ人知す)」

七.一期会

一期会とは、元々茶道の心得を表した言葉で、「この

「瞬間は、人生で度だけのかけがえない瞬間だ。もう二度と会えないかもしれない。最後の出会いと思って心を込めてお茶を立てて出すことを意味する。」

スペインのバルセロナ近郊にあり、キリスト教の聖地とされているサンタ・マリア・モンセラット修道院で修道士と共に修行をしたことがある。仏教の僧衣を着た私を受け入れ、異教ではあるが同じ修行をする僧侶として私を扱い、ミサにも参列させてくれ、彼らの懐の深さを感じた。

一休禅師の言葉に「分ける麓の道は多けれど同じ、高嶺の月を見るかな」という句がある。山を登るには緩やかな道、険しい道、蛇行する道などいろいろな道がある。人生は人それぞれであるが、目指す高嶺は同じで、人として大切なこと（お月様を見つめること）ではないか。仏教であれ、キリスト教であれ、人として大切なことは同じである。宗教は違ってもお月様を違う角度から見ているだけである。

京セラ創業者で日本航空の再建に尽力した稲盛和夫さんは、臨濟宗本山妙心寺の信者で、かつて平田に來られたときに緒に托鉢をしたことがある。托鉢の最後に念願であった辻説法をされたことが、その時に「魂が美しいものになったかどうか、それが私の人生の価値です。」と述べられた。これはお釈迦様の教えに近いと感じた。

京都清水寺の貫主を務め、〇八歳で夭寿を全うされた大西良慶さんは、「人生で一番輝いていたのはいつでしたか」と問われ、「今だとお答えになった。『今の瞬間が大事だ』ということである。私たちは毎日、一期会の連続を過ごしている。『今の瞬間が自分の人生の最期だ』と思つて過ごすことが大切だ。



講演会

私は大学を卒業後、埼玉の平林寺で修行をしたことが、そこでお世話になった師匠からいただいた手記「朝は希望に目覚め、昼は精進に生き、夜は感謝に眠る」とあった。二三日の毎日を大切に、充実した毎日を通していききたいものである。



境内の案内



講演会

第71回
全国高等学校PTA連合会大会 石川大会

今年の全国大会は八月二十五日(木)・二十六日(金)に金沢市のいしかわ総合スポーツセンターと石川県産業展示館を会場に開催されました。「輝く未来への礎」をメインテーマ、〃親から始める新時代の教育〃をサブテーマに全国から五千名を超えるPTA関係者が集い、島根県からも四十五名が参加しました。また、オンライン配信も行われ、全国で〇七六校、島根県県からは七校が参加しました。

開会式の後に表彰式が行われ、島根県からは左記の団体と個人が受賞されました。おめでとうございます。

○優良PTA文部科学大臣表彰 矢上高校PTA
○全国高P連会長表彰(団体)

三刀屋高校PTA 浜田商業高校PTA

大屋光宏さん（元矢上高校PTA会長、元島根県高P連会長、前島根県高P連顧問、前全国高P連大会島根大会実行委員会会長）

飯塚大幸さん（前松江北高校PTA会長、前全
国高P連大会島根大会実行委員会副会長）

勝部昌幸さん（前島根県高P連事務局長）

開会式・表彰式に続き、三つの会場の分科会で、基調講演やパネルディスカッションが行われ、多くのことを学ぶ機会となりました。

第一分科会

新時代の家庭教育
 ～今、伸ばすべき本当に必要な力～

第二分科会

新時代の学校教育

第三分科会

新時代のキャリアデザイン

第四分科会

新時代の進路選択

第二日目は記念講演として、(株)ファミリーマート顧問(前副会長)二社長の澤田貴司氏を迎え、「やりたいことをやる」と題して講演がありました。講演の概要は次のとおり。

澤田氏が二十七歳の時、父親が亡くなり、葬儀には年齢・性別・職業に関係なく多くの見知らぬ人々が参列し、「お父さんには大変お世話になりました」と挨拶を受け、「人のために尽くしたい」と誓った。大学卒業後、伊藤忠商事に入社し、アメリカでセブシイレブンの買収・再生プロジェクトに関

輝く未来への礎
 ～親から始める新時代の教育～

わった。一九六七年にユクワに入社し、「違和感の是正」と「何が正しいか」を徹底的に追求し、入社年で副社長に昇進。二〇一六年にファミリーマートの社長に就任すると「量の追求から「質の向上」に向けて改革の四つのテーマ①ワンファミリーマート「組織が一つになる」②「誰が正しいか」よりも「何が正しいか」③生産性の向上④「未来に

繋がないことは排除」を掲げ、現場との対話を重視し、「入てを白紙で見直す」大胆な構造改革を行った。経営統合した他ブランドの「コンビニ」ほ八千店にも上る。社員との「ミニミーティング」を大切にし、「社員は納得して働いているか」を見ようとしたランチミーティングは三百回を超える。「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるでもない。唯一生き残ることができるのは「変化できる者である」というダーウインの言葉を引用し、「今、新たな変化⇨成長が求められている」と訴えた。やりたいことをやる」には「自己責任」「逃げ場をなくす」「納得して努力する」ことが大事で、それが「自己成長につながる」と説き、「組織はリーダーによって九九：九%決まる」「二人でも多くの人を物心両面で幸せにしたい」と熱く語り、予定時間を越えて講演を終わった。

講演後、閉会式が行われ、山田博章H.P.連会長より閉会の挨拶があり、さらに次期開催地である第72回全国高P連宮城大会実行委員長町田さやかに大会旗が手渡されました。その後、宮城大会P.R.ビデオが上演され、宮城大会への参加を呼びかけられ、大会が終了しました。

第72回 全国高P連大会宮城大会

「豊かな杜につむぐ虹の光」しなやかな強さで生き抜く力



第70回全国高P連大会島根大会に
対する特別感謝状



特別感謝状を授与される
大屋光宏さん



開会式

優良PTA文部科学大臣表彰実践報告

矢上高校のPTAの取り組み

島根県立矢上高等学校 PTA会長

寺本 英仁

令和四年八月二十五日に開催されました「第七十二回全国高等学校PTA連合会大会石川大会」におきまして、優良PTA文部科学大臣表彰をいただきました。これまでの会員の皆さまの地道な活動とご努力が認められ、大変喜んでおります。

本校PTAは会長一名、副会長三名、監事二名、幹事五名を中心に、約三十名の地区代議員で構成された役員をもとに活動しています。また、役員は「研修委員会」「広報委員会」「生活指導委員会」「進路指導委員会」に分かれ、各委員会毎に保護者、教員双方の負担が偏らないように活動計画を立てて活動しています。

「研修委員会」は、主に学園祭でPTAや生徒対象に自由参加の講演会や研修会を実施。「広報委員会」では「PTAだより」を年二回発行するために原稿依頼や編集作業を担当。「生活指導委員会」では町内の祭り等でのパトロール、学園祭での飲み物の販売、「進路委員会」は各学年部での進路説明会の共催・手伝いを実施。各委員会共に、無理の無い範囲で楽しく、生徒たち、そして自分たちのためになる活動を心掛けています。

また、委員会活動以外にも矢上高校地域応援団や地元自治会と連携した奉仕作業の実施や、学園祭でのPTA有志に

よるバザー（カレー販売）も実施し、保護者同士の交流の場となると共に、自分の子供以外との交流機会も生まれ参加者からは喜ばれています。さらに、近年はコロナ禍で実施できていませんが、保護者と教員の自由参加による飲酒を交えた懇親会を実施し、保護者・教員の本音トークによる情報交換は大変有意義な場となっています。本校は県外生も積極的に受け入れています。また、オープンスクールに県外からやってくる参加者に対して、保護者から見た矢上高校の良さや生徒の成長した姿をお話してもらう活動も行っています。

昨年からはコンソーシアムが設立され、PTAも参加しています。今まで以上に地域と共に矢上高校の発展と、生徒たちが充実した学校生活を送れるようにPTAとして支援していきたいと思っています。



奉仕作業2



奉仕作業1



PTA研修会

全国高P連会長表彰実践報告

三刀屋高校のPTAの取り組み

島根県立三刀屋高等学校 PTA会長

飯石 敏之

令和四年八月に開催された「第七十二回全国高等学校PTA連合会大会石川大会」において、本校PTAは「全国高P連会長表彰」を受けました。今年度の活動に限らず、以前からの会員の皆さまの活動が認められたものと、大変喜んでおります。

本校PTAは会長一名、副会長四名、各地区を取りまとめる理事六名、監事二名、各地区から選出された約二十名の評議員、十六名の生活指導委員を中心に活動しています。

この二年間は新型コロナウイルス感染症のため中止したり、規模を縮小したりした活動もありますが、例年、夏祭りでのパトロールや、学園祭での保護者模擬店、秋の交通安全週間にあわせた交通安全指導など、地道な活動を続けてきました。令和三年度の「第七十回全国高等学校PTA連合会大会島根大会」に関しては、分科会担当校として、令和元年度の京都大会の視察から事前準備など尽力し、アトラクションに三刀屋高校演劇部による、雲南市で育った永井隆博士が書かれた文章の朗読劇を手配しました。

また、教職員の皆さまの力を借りて、教科の学力向上や公務員試験を目指した土曜講座を実施したり、休日に生徒に学

習の場を提供する学校開放日を設定したりしてきました。

PTA活動として、他校とは違った何か特別に優れた活動を行ったというわけではありません。生徒たちが安心して安全に生活が送れるように、また、日頃の学習や学校行事が生徒たちにとってより有意義なものになるように、過去数年間にわたって、ごく普通の活動を地道に続けてきたのです。

今回の受賞に際しまして、島根県高P連をはじめ関係者の皆様方へ心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。ありがとうございました。



全国高P連京都大会の視察



学園祭保護者模擬店(過年度)

全国高P連会長表彰実践報告

浜田商業高校のPTA活動について

島根県立浜田商業高等学校 PTA会長

多郎畑 誠

ここ数年は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、PTAの活動も自粛していますが、過去には進路指導や学校行事に関係して活動してきました。

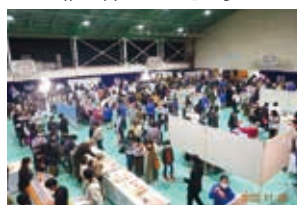
進路指導においては、『PTA就職面接指導』を行ってきました。社会の厳しい状況に対応するため、PTA・同窓会の協力を得て多面的な角度から面接指導を行い、生徒の就職活動を支援してきました。

また、昨年から島根県西部県民センター人材確保育成コーディネーターと連携し、保護者へ『4者フォーラム』『いわみ仕事発見バスツアー』への参加を呼びかけています。プレゼンテーションだけでは伝わらない企業の取り組みや思い、若手育成や地域貢献に関わる思いなど生の声を聞き、また現場の若手の声を聞いて、生徒の進路決定の一助にしたいと考えています。『いわみ仕事発見バスツアー』は今年度初めての企画でしたが、現場の声を直接聴く機会があつて嬉しいとの感想を多くいただきました。

学校行事においては、本校では生徒が学習した、販売や会計処理・宣伝など商業に関する知識や態度を実践する場として『浜商デパート』を実施しています。この機会を、ただ学習したことを発表する場とするだけでなく、実際にその目で見る

ながら体験的に学習できる場にするために、PTAも参加することになりました。社会人・商業人の先輩として、心構えや態度を示し、その場で生徒に何かを感じとってほしいという思いから始めたものです。『コロナウイルス』が猛威を振るい始めてからは、お客様を保護者限定で開催してきましたが、令和4年度は三年ぶりに一般の方にもご来場いただき、面識のない方への販売実習を行うことができました。

『コロナウイルス』感染が終息するまで思うような活動は実施しにくいですが、これからも生徒の成長に資する活動をしていきたいと思っています。

令和4年度「いわみ仕事発見」バスツアー
現場見学の1シーン令和4年度「いわみ仕事発見」バスツアー
企業説明の1シーン令和4年度「浜商デパート」
販売実習の1シーン

第64回

中国・四国地区高等学校PTA連合会大会 愛媛大会

笑媛から始まる絆づくり

七月二十六日(火)松山市の県民文化会館において、第六十四回中・四国地区高P連大会愛媛大会が開催されました。笑媛から始まる絆づくり、無限の可能性を秘めた子どもと共に、をテーマに、中・四国各県から約二千二百名、島根県から四十七名の会員が集い、熱心な協議を繰り広げました。

開会行事の後、元サッカー日本代表監督で、現在は(株)今治・夢スポーツの代表取締役会長を務め、日本サッカー協会副会長でもある岡田武史氏より「今治からの挑戦」と題して記念講演がありました。岡田氏は「今治モデル構想」に基づき、選手や指導者の育成だけでなくサッカーを楽しむ機会を提供し、サッカーで人々に勇気と希望、感動と笑顔をもたらす、今治を人々が集まる街にしたいと熱く語りました。現在、「里山スタジオ」を建設中で、試合がない日も人が集まる場所にしたいとのこと。一次世代を担う子供たちのために物の豊かさより心の豊かさを大切にする社会創りに貢献したい」という力強いメッセージは、教育を考えるうえで大切な考え方だと感じました。

続いて、過疎化により生徒数が減少する中、学校存続のため高校の魅力づくりに取り組んでいる七つの高校の取組みが午前と午後に分けて発表されました。その内、長浜高校は国内初の校内水族館を一般公開しています。生徒が主体的に管理運営を行い、三年後には総工費一億四千三百六十万の水族館をオープンさせるというプロジェクトにも取り組み、地域や行政にプレゼンテーションを行ったりコンサルタントと建築の打合せをするなど、高校生の範疇を超えている内容とそのパワーに驚かされました。

昼食後、愛媛県立松山中央高校吹奏楽部によるダンスも取り入れた若々溢れる演奏が行われ、会場の聴衆を魅了しました。その後、研究協議が行われ、以下の高校のPTAによる発表が行われました。



講演



高校生によるアトラクション

第65回中・四国地区高P連大会
岡山大会

とき 令和5年7月14日(金)
ところ 倉敷市
テーマ 「集まれば ころろはれば 晴れの国」
～「集まる」「話す」の大切な再発見～

最後に開会行事が行われ、来年度の舞台岡山県に引き継がれ、愛媛大会は終了しました。一昨年の広島大会、昨年の徳島大会の中止を受けて三年ぶりの大会となりましたが、愛媛県高P連のご努力で見事な大会となりました。なお、愛媛大会は講演を除き、十二月三十一日までアーカイブ配信されています。島根県高P連HPから入ることができます。

行われ、会場の聴衆を魅了しました。その後、研究協議が行われ、以下の高校のPTAによる発表が行われました。

- 山口県立山口中央高校PTA
地域とともに、地域と連携し、進化していくPTA活動
- 香川県立農業経営高校PTA
地域と歩む農経PTA、地域から愛される学校づくりの二翼を担って
- 愛媛県立新居浜東高校PTA
地域と共に歩む新居浜東高校、すべては生徒たちのために

第29回 スルタンアズランシャーカップ2022出場 会長激励費贈呈

島根県立横田高等学校 ホッケー部 佐伯昂大さん

令和四年十一月にマレーシアのイポーで開催された第29回スルタンアズランシャーカップ2022に日本代表として横田高校ホッケー部の佐伯昂大選手が出場した。十月十八日(火)に横田高校校長室で坂本拓三高P連副会長が佐伯昂大選手に激励費を贈呈した。

大会の結果は次のとおり。

リーグ選

一試合目	○日本	1-0	エジプト
二試合目	●日本	0-1	韓国
三試合目	△日本	2-2	パキスタン
四試合目	○日本	4-2	南アフリカ
五試合目	●日本	2-4	マレーシア

△二位決定戦

●日本 3-5 パキスタン

最終結果 四位

今回の日本代表チームは東京オリンピックに出場したメンバーが大半で、その中であつて大学生、高校生から唯選ばれたメンバーであり、二〇二四年のパリオリンピックでの活躍が期待される。

第29回スルタンアズランシャーカップ2022に参加して

島根県立横田高等学校 ホッケー部 三年 佐伯 昂大

私は十月一日から行われたアズランシャーカップに出場しました。参加国はエジプト、韓国、パキスタン、南アフリカ、マレーシア、日本の六カ国でした。

今回の海外遠征を通して沢山のことを学ぶことができました。試合を通して速いテンポの攻撃でボールを受けてから判断すると囲まれてボールロストしてしまうことが多くあります。今まではちやうとしたトラップミスや判断ミスがボールロストにつながることはあまりありませんでしたが、今大会ではすべてと言っていいほどボールロストに繋がりました。そしてFWとしてゴール前のポジション取りで

は今までになくいろいろな体の当て合いになり相手の前を取る難しさを体験しました。また、今までのリーグでは相手に隠れてしまいボールを受けることが厳しいことが分かりました。代表の監督やコーチからアドバイスをもらいうまくいくことが何回かありました。今回出た課題を普段の練習から意識して行い、日本代表で活躍できる選手になりたいです。

今回一ヶ月マレーシアで生活して、いろいろな経験をすることが出来ました。特に洗濯や食事の面、コミュニケーション面で苦労しました。食事面では食べたことのないような物を食べたり、とても辛い物を食べたりしました。美味しい物もありましたが、日本食の素晴らしさを痛感しました。洗濯面では毎日手洗いで脱水はバスオールで行いました。普段親にしてもらっていることを全て自分で行っていることを全て自分でしないといけない、いつも支えてくれている親へのありがたさを感じました。コミュニケーション面では、一番近い年の人でも五歳離れており一番離れている人では十五歳差といったジェネレーションギャップがあり最初は会話が難しかったです。しかし、ずっと一緒にいることでホッケーの話や生活の話について沢山話すことができて楽しく過ごせることが出来ました。

今回高校生では経験できないようなことを沢山させてもらいました。この経験は必ず今後に生かすと思います。学んだことを高校のチームにも還元し、三冠目の選抜優勝に向けて頑張っていくことと思います。



試合前の陣円



試合前の集合写真



贈呈式

2022 ICFジュニア・U23カヌースプリント世界選手権大会出場 会長激励費贈呈

島根県立出雲農林高等学校 カヌー部 橋本寧々さん 三島まりあさん

カヌー競技でハンガリーのセグドで開催された2022 ICFジュニア・U23カヌースプリント世界選手権大会に、日本代表として出場した出雲農林高校カヌー部の橋本寧々さん、三島まりあさんと指導者の大畑篤郎先生に九月二十日(火)出雲農林高校校長室で伊藤雅之高P連副会長が激励費を贈呈した。出場種目と結果は次のとおり。

○U18女子カヤックペア500m競技

(結果)予選にて転覆失格

橋本選手、三島選手とも大学でもカヌー競技を続ける予定で、パリオリンピックに向けて二選手の今後の活躍に期待したい。

橋本、三島選手には、左記のようにハンガリー遠征時の手記を書いてもらった。

世界ジュニア選手権に参加して

島根県立出雲農林高等学校 カヌー部 三年 橋本 寧々

三島まりあ

ハンガリー・セグドで開催された2022カヌースプリントジュニア世界選手権に出場しました。私たちが初めて海外遠征となり、日本ではできない体験をすることができました。出雲から約日かけて大会会場に到着します。現地は業者と相談しながらカヌーをレンタルし、そこからレース当日に向けて苦手をスタートダッシュや、新しい艇に慣れるための練習を行いました。レースでは、不安や緊張が多くある中で、初海外レースで、しかも暴風雨の悪天候と、経験したことの無いコンディションでした。その状況でも、メインで練習していたスタートダッシュは今まで一番良い出だしになりました。各国選手と並んで中盤に差し掛かるころ、お互いのフランスが崩れ始め、ラスト二〇〇mで不安と焦りがピークに達し、転覆という結果で終わってしまいました。

今回の経験を通じて、これからの人生とカヌー競技を豊かなものにしていきたいです。応援をいただき、ありがとうございます。

た。日本ならやらないようなミスに、今の自分達の課題とこれからやるべき事に気づかされました。大学進学後に再び日本代表に選出され、この大会の悔しさを晴らすと一人で誓いました。競技以外では、海外の選手との交流を楽しむことができました。日本のお菓子やガチャガチャと、その国で有名な菓子やキーホルダーなどを交換しました。話す時は英語なので、分からない単語はスマートフォンで翻訳をしながら会話をしました。また、観光で訪れたセグドの中心街は、路面電車や古風な建物、教会が多く、ハンガリーという国を感じるということが出来ました。また、道に迷った時に現地の人が目的の地まで案内をしてくれるなど、優しさを直に感じることも出来ました。ハンガリーの食べ物、日本とは違い濃厚なものも多く、特にスイーツはとても美味しかったです。ホテルの料理でも日本では見た事のないライスパリンや、ナマズの揚げ物などがありました。



会場の様子

カヤックペア500m
(前から三島、橋本選手)

贈呈式

アジアパシフィックカヌースプリント大会出場 会長激励費贈呈

島根県立島根中央高等学校 力ヌー部
河野賢晃さん 河野文晃さん 河村大樹さん 吉村颯人さん

令和四年九月に石川県小松市で開催されたアジアパシフィックカヌースプリント大会に日本代表として島根中央高校カヌー部の四人の選手と顧問が出場した。十月十七日(月)に島根中央高校校長室で中村学高P連会会長が河野賢晃、河野文晃、河村大樹、吉村颯人選手と顧問の堀田育子先生に激励費を贈呈した。出場種目と結果は次のとおり。

○カヤツクフォア500m 三位

（河野賢晃、河野文晃、河村大樹、吉村颯人選手）
四人の選手は全員二年生で今後の活躍が期待される。吉村颯人選手には、左記のように大会遠征時の手記を書いてもらった。

アジアパシフィックカヌー
スプリント大会に参加して

島根県立島根中央高等学校 力又一 部 二年 吉村 颯人

私達にとって、アジアパシフィックカヌースプリント大会は初めての国際大会でした。そして初めて日本代表のユニフォームを着た時はとても感動しました。

この大会は、今回で四回目の大会となり、第二回大会と第三回大会は「ユージーランド」、第一回大会はオーストラリア、今回は石川県の小松市で行われました。この会場は、毎年、日本選手権大会が行われ、何度も行ったことのある会場だったので大きな緊張もなく大会に臨むことが出来ました。

私たちが会場に着いた時には、オーストラリアの選手たちは会場入りしていて、艇の調整を終え水上練習をしていました。オーストラリアの選手たちを見て、まず感じたことは「体が大きいな」ということでした。U-16の選手たちは皆、背が高くがっちりした体形をしていました。正直「私達是对等に戦えるのだろうか…」と思いました。

大会が始まりU-16カヤックフォアでは、四人で

呼吸を合わせ順調なスタートができオーストラリアについていくことが出来ました。しかし後半は前半のハイペースがたたり失速してしまい三位になり、メダルを獲得することはできませんでしたが悔しい思いもありました。自分たちの弱みがたくさん見つかり、また頑張れば世界で戦えるのではないかという希望も持つことが出来ました。この大会に参加できて本当に良かったです。

大会だけではなく国際交流もたくさん経験で

きました。海外選手との会話が中々難しかったですが、学校で学んだ英語が通じたときには嬉しかったです。また、英語力も必要だということに気づいたので力又一競技と同様に努力したいと思います。



贈呈式

贈呈式

これから、今回の貴重な経験を活かしこの冬に課題を克服するだけではなく、向上心を持って努力したいと思っています。来年の三月に行われる海外派遣選考会で日本代表になり、また、世界に挑戦したいと思います。



前から河野賢晃・河野文晃・
河村・吉村選手

前から河野賢晃・河野
河村・吉村選手

今回は、私達にたくさんの熱い応援をいただき本当にありがとうございました。これからも、皆さんから頂いた応援を力にして目標達成に向けて頑張ります。



カヤックフォア500m
表彰式 3位



カヤックフォア500m
表彰式 3位



前から河野賢晃・河野文晃・
河村・吉村選手



贈呈式

「Adventure」
くじゅもの城で見てきた親たちく

令和四年度島根県幼・こども園・小中・高・特別支援PTA合同研修会

十月二十六日(土)、江津市総合市民センターを会場に、幼こども園 小中・高・特別支援学校のPTA会会員百二十七名(高P連関係二十名)が参加し、合同研修会が開催された。講師は諫早市こどもの城前館長池田尚氏で、「Adventure」こどもの城で見てきた親たち」というテーマで講演をいただいた。以下にその概要を報告する。

○子どもの城について

こどもの城はレジャー施設ではなく、子供たちが
 生きる力を培うことを目指し、「人」や「自然」との
 触れ合いを通して大人も子供も共に学びあう施設
 である。自然にたくさん触れてほしいと願って山の
 中に建っている。施設内にはここはぶつかるところ
 ぶつかりながらまもりかたをまなぶところ
 さあ、どうしたらまもれるかな　じぶんもひとも」
 などたくさんさんの名言が貼られている。

○叱り方「BeとDo」について

Be₀存在する(γ)とD₀(す)を分ける。Be₀(γ)のことを叱っては行けない。叱るのはD₀(be₀)のことだけ。B₀(存在する)のことで叱ればそれは虐待である。子供は成長する存在であり、「そんなこともできないのか」という叱り方ではなく、「今、そんなことでもできないのか」「今」を入れた叱り方が大切。

いぬ。

○「守ってあげたい」

松任谷由実さんの歌に「守ってあげたい」♪ You don't have to worry, worry, 守ってあげたい あなたを苦しめまじのうたに "Cause I love you, 'Cause I love you ~~~~~" の曲が あり。

親はこの「守つてあげたい」という気持ちを持っているが、同時に「この子が人々で生きていけるように」と願つてゐる。子育ては、保護(守つてあげる)と自立(自分の力で生きて行きたい)という二つの言葉に集約できる。自立を促すように「自分でやつてごらん」を忘れがちである。子供が「自分でできるよ」になり、「自分を乗り越えていくほしい」は

親の共通の願いである。親の立場からは「育てる」だが、子供の側面に立つと「育つ」である。自分の力でできるように育てていくべき。

○失敗について

こどもの城では、失敗を大切にしている。子供は「失敗」から自分で学ぶことができるのに、親が失敗させないようにしていることがある。そして子供の失敗は、親の失敗だと思いがちである。けん玉ができるようになるように、いろいろなことを子供は失敗しながら長い時間かけて自分でできるようになる。

講演のテーマ「adventure(冒険)」とこの言葉は、
「venture」(危険を冒して)をずる、思ひ切って「す
る」という意味を持っている。私たちはかたき選択肢
から正解を選ばなければならない教育を受けたが、答
えは二つではない。子育てのやり方もう二つではない。
様々なやり方で新しいことに挑戦したりわくわくして
新しいことをやってみる子供の成長を支援したい。

最後に、池田氏がギターを片手に「おかえり、おかえり、おかえり、おかえり」と歌い、我が子だけでなく周りの子供にもぜひ「おかえり」と声をかけてほしいと呼びかけ、講演は終わった。

講演後の感想には「親の助けとは、子供に失敗させないことではなく、いかに自立させるのかをサ

ポートすることだ
 と改めて感じた。」
 「大人の懐の深さ、
 心の広さが求めら
 れているような気
 がします。愛情を
 もって子供を育てた
 いと思いました。」
 などとあり、親とし
 て子供の成長にど
 う寄り添うかを学
 ぶのにいい機会とな
 る研修会となった。



研修会の様子



研修会の様子

島根県高等学校PTA連合会高校生総合保障制度 (こども総合保険)

2022年10月現在の内容です

高校生の
日常生活を
幅広くサポート



授業中に
メガネを
壊した!



部活で
ケガをした!



大切なお子さまを 1日24時間、補償!

学校でのケガはもちろん、学校が休みの日や部活中・登下校中のケガも補償します。ただし、一部の補償は24時間補償ではありません。

選べる4プラン (2022年度版)

※プランによって補償内容が異なります。総合保障制度の詳細につきましては、配付されたパンフレットをご覧ください。引受保険会社にお問い合わせください。

プラン	年間保険料
ZCプラン	18,540円 (1年分の掛金)
SCプラン	12,840円 (1年分の掛金)
TCプラン	8,000円 (1年分の掛金)
ACプラン	6,000円 (1年分の掛金)

取扱代理店・扱者
東部地区、大田、邑智郡、隠岐郡、益田、鹿足郡、江津
(有)メイジ (TEL 0120-001-230)
浜田
(有)コテラ総合保険 (TEL 0855-28-2121)

引受幹事保険会社

AIG損害保険株式会社 山陰支店

松江市伊勢宮町519-1 松江大同生命ビル6F
(受付時間: 午前9:00~午後5:00 土、日、祝日、年末年始を除く)
TEL.0852-26-2781 FAX.0852-26-2776

承認番号:S-220590 有効期限:2023年11月

大阪・京都・神戸方面に進学される
生徒・保護者の皆さんへ

「大阪学生会館入寮生」第二期募集受付中!!



大阪府およびその周辺の大学・短大・専門学校等に在学する島根県にゆかりのある人の修学の便を図るため、島根県育英会が大阪府吹田市に学生寮を開校しています。大阪平野の北部に位置し、静かな住宅街で大阪万博記念公園を望める絶好の環境です。

寮費 35,000円 / 共益費 4,000円 / 食費 25,000円 (いずれも月額)
※別途入寮料、入寮費 150,000円(最短期間2年以上は120,000円)が必要で、

【応募要件】

学校教育法に基づく大学・短期大学・大学院・高等専門学校(4年以上)・専修学校(専門課程のみ)(以下「大学等」という。)に在学または進学予定の島根県出身者。ただし、大学等の通信制及び夜間部は除きます。(進学予定者で、入学が決定していなくても応募は可能です。)*詳しくは島根県育英会のホームページをご確認ください。

【施設概要】

〒565-0812 大阪府吹田市千里丘中58番10号

TEL 06-6877-3058

2003年築/鉄筋コンクリート3階建/個室70室(男女)/全館冷暖房

備付バリアフリースペース(食堂/学習室/浴室/談話室/コイン

シャワー室/洗濯室等)プライベートルーム(個室/洋間6畳・パソ

コン記録・洗面化粧台・収納棚)

【アクセス】

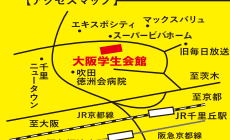
JR大阪駅(15分)

JR京都駅(25分)

JR神戸駅(50分)

JR千里丘駅 下車徒歩15分

【アクセスマップ】



～今春入寮した寮生保護者の声～

新生活のスタートが学生会館で本当に良かったと思っています。①不慣れた土地での物件探しが必要ないこと、②初期費用が抑えられること、③食事の面での心配が不要、④島根出身の仲間ができる安心感など良い点をあげればキリがありません。寮生活の様子が分かる「大阪学生会館だより」も毎月届き、とても安心して入寮しています。入寮以降、必要最低限のこと以外、本人から連絡がないのは楽しく過ごせているからなのでしょう。本当に感謝しています。

見学随時受付中!

部屋を見たり、志望する学校の先輩の話を聞ける
など、学生生活をイメージできるチャンス!

お問い合わせ・館内見学・資料請求

(公財) 島根県育英会事務局

〒690-0887 松江市殿町8番地3 島根県市町村振興センター3F

TEL 0852-28-1981

FAX 0852-26-2089

Email info@shimane-ikuei.or.jp WEBサイト https://www.shimane-ikuei.or.jp/



大阪学生会館HP

https://www.shimane-osakagakuseikaikan.jp/



事務局だより

事務局に勤め始めて二年目になります。昨年は中・四国地区高P連徳島大会は中止、島根開催の全国高P連大会はオンライン開催でしたが、今年は愛媛の中・四国地区高P連大会、石川での全国高P連大会に行ってきました。全国高P連大会では約五千人の方々が集まり、一堂に会しました。県でツアーを組んできた人たちが、「帰りの飛行機に乗り遅れたら大変」と話す北海道の方、おそろいのTシャツを着ている集団、受賞された賞状を手に写真を撮られる方などオンラインでは感じられないパワーと活気を感じて高校生の子供に携わっている一体感と全国高P連の組織の大きさを実感しました。わざわざ出張で遠くに行かなくてもオンラインで十分という話も聞かれますが一堂に会している中で聞く講演の人の惹きつける強さ、高校生のアトラクションによる圧倒される迫力、保護者の皆さんの熱気はやはり会って初めて感じるものがありました。デジタルな社会だからこそ、人と直接会って会話をする機会を増やして行くのが重要だと思いました。

コロナ禍のいろいろな制限は今もありますが、各学校では試行錯誤の中で、安全対策をとりながら、学校行事の再開を始めています。この高P連だよりも生き生きと輝く子供達の姿が表紙を飾ってくれています。前向きに生きている子供達の姿は希望に満ちていて、私たちに夢と感動を与えてくれます。その子供たちをみんなで支えて行くお手伝いが少しでもできたらと思います。

皆さんにとって良い年でありますように。